

一般質問(2)



調布保谷線の予定地(富士町6丁目)

西東京市は大丈夫か！  
財政・環境・教育について

小峰 和美(自民・無)

**質問** 燃料高騰に伴う財政。予算編成時には想定できなかった経済情勢だ。社会福祉協議会、配食サービス事業者、障害者の福祉作業所等についても事業費全体の中で対応する。

**質問** 減災について。

**答弁** 地域防災計画の見直しの中で減災目標を設定し、災害時の被害を抑える。防災訓練は実効性のあることが重要だ。数日来継続した雷雨により、やむを得ず中止した訓練は、今年度中に何らかの事業を実施したい。

**質問** 環境(土壌)汚染について、IH工跡地の六価クロムや、かつての住友重機などのテトラクロロエチ

レンや鉛など、人体に影響があることを示したか。

**答弁** 汚染物質の詳細な情報は広報しなかった。今後は市民の健康は絶対守る姿勢を進めていきたい。

**質問** チャンピオン体育について。今年は北京オリンピックだ。才能を引き出すすばらしい指導者を見出せ。講師及び地域人材と連携を図り、技能向上を図る。

**質問** 全国学力・学習状況調査の結果について。  
**答弁** 学力向上を図るため、児童生徒の発達段階や教科の特性による指導方法の課題を把握し、指導の改善を行っていくことが大切だ。

景気対策を急げ！市の対応は  
調布保谷線を最大限活用せよ！

鈴木 久幸(自民・無)

**質問** 昨今の景気は、大変に悪いと感じている。西東京市の地域社会の一翼を担っていた会社が、倒産や廃業に追い込まれている。このような状況が続けば、市として何らかの対策を考えなければならぬと思うが。

**答弁** 当市の法人市民税の構成比率が毎年減少傾向であり、原油等の価格高騰に伴い、企業活動に深刻な影響が出ていると認識している。国・東京都の動向に注視し、市として可能なものについては努力したい。



メダリストを招いての実技指導(きらっと)

議員の活動と生活を妨害  
報酬の全額供託はやめよ！

森 てるお(無所属)

**質問** なぜ報酬を全額供託し、議員に渡さないのか。部分供託した他団体もある。市長 議員が一部を辞退した。条例は月額全額払い。一部支払いは条例違反。

**質問** 調布保谷線は市の大動脈になる道路だ。この道路を中心に、土地利用及びインフラ整備を進めるべきと考えるがどうか。

**答弁** 沿道部分の用途地域を定め、建物の規制、誘導をしている。地元の要望があれば、地区計画で土地利用の規制等を検討したい。

**質問** 最近、排出したプラスチック容器包装類を収集業者が回収しないとの相談があったが、実態はどうか。

**答弁** 苦情は把握している。分別の方法を正しく理解していただくために、直接出向いて説明をしている。

合併検証を後期基本計画に生かせ  
介護人材発掘に相談会の実施を！

納田 さおり(無所属)

**質問** 行政力の強化、市民参加、情報公開など合併で得たものは多い。しかし、新市建設計画で起債した合併特例債の公債費が財政の圧迫要因にもなっている。合併を検証し、後期基本計画に反映させるべきだ。

**質問** 公選法が根拠で、条例上分割できないという前回の答弁は訂正するのか。

**市長** 根拠は2つの理由だ。併立と理解した。寄附行為の成立時期はいつか把握してはいない。

**質問** 総務省見解は市が収納したとき、分割は可能だ。議員は公選法が絡む。並立ではないのか。

**市長** 市には義務がある。全額供託の例は、他市の例は参考にしない。法的に分割できない。箕面市は1カ月で全額供託を部分供託に変えた。債権は分割できる。

**部長** 一般論では分割できるが、議員は寄附行為禁止により公選法違反になる。

**質問** 分割しない根拠は公選法と条例のどちらか。

**答弁** 合併で新たな事業展開と行政改革を得たが後年度負担も生んだ。後期基本計画では身の丈に合った行政運営への転換を図る。

**質問** 介護現場の職員確保は極めて深刻な現状である。近隣市でも行っている東京

**市長** 並立と理解した。寄附行為の成立時期はいつか把握してはいない。

**質問** 総務省見解は市が収納したとき、分割は可能だ。議員は公選法が絡む。並立ではないのか。

**市長** 市には義務がある。全額供託の例は、他市の例は参考にしない。法的に分割できない。箕面市は1カ月で全額供託を部分供託に変えた。債権は分割できる。

**部長** 一般論では分割できるが、議員は寄附行為禁止により公選法違反になる。

**質問** 分割しない根拠は公選法と条例のどちらか。

都福祉人材センター主催の「福祉の仕事相談面接会」を本市でも実施し、地域の人材発掘に取り組むべきだ。

**質問** 今後認知症高齢者が増えていく。施設整備の状況は。また、認知症サポーター養成講座の受講状況は。

**答弁** グループホームは整備計画数に達していない。

**質問** 子どもを妊娠、出産するに当たり、経済的負担軽減が一番の要望だが、23区との地域格差があることに對する市の見解と子育て支援策について問う。

**答弁** 三多摩格差はますます広がっており、妊産婦の健診や子どもの医療費など、財政格差の格差、すなわち東京都の財政調整などによる支援のあるところとなるところの格差となる。市長会では絶えず話題になっており、今後とも格差是正に努めるよう、東京都にも要望していく。

**質問** 今後も特定健診、一般健康診査、がん検診の無料化継続を望むが、考えは。

**質問** 街路樹等のスペースを市民に開放し、市民との協働による、花や街路樹の美しいまちづくりを。

講座の修了者数と養成者数は26市中1位の実績である。

**質問** 平成21年度中に母子保健センターが取り壊されるが、乳幼児健診等の母子事業の継続はどうするのか。

**答弁** 乳幼児健診には1回60〜70組が訪れている。代替施設を慎重に検討したい。

**意見** 中学校給食実施を心待ちにしている多くの市民に具体的な情報の提供を！

**質問** 健康診断及び自己負担については、今後の財政状況を見据えた上で判断をしていきたい。

**質問** 健康診断として市民の生涯にわたる健康に対する記録が残るよう生涯手帳の交付をしてみてもどうか。

**答弁** 現在、東京都医師会で生涯健康手帳のサンプル版を作成している。医師会との会合でも本市で活用できないか提案をしている。今後は、どのような手帳が有効で効果があるのかについて関係機関の意見を聞き、検討していきたい。

**意見** 保健や医療のみならず、多分野での健康の向上を目指す「都市宣言」を！

**質問** 実現のために、収納体制・債権回収・滞納整理の強化に積極的な取り組みを。

**答弁** 先進事例を研究し、より効果的な対応方法について検討する。

**質問** 市民の立場に立ったワンストップサービスや総合窓口の充実を。

**答弁** 効果や課題について検証し、より使いやすく、便利な窓口の実現に努める。

みどりの保全と  
持続可能なまちづくりを！

山崎 英昭(民主・社)

**質問** 市民がみずからの手で活用できる農地が、身近にあれば、みどりの保全のみならず、町の特色・魅力の一つとなり得る。生産緑地を買い取り、農地をそのまま市民農園として活用することを提案する。



市民農園(富士町6丁目)

**答弁** 体験農園の確保に努めてきたが、今後の研究・検討課題とする。

**質問** 公共施設の屋上・壁面緑化を積極的に進めていくべきだ。

**質問** みどりの保全や確保活用を努めてまいりたい。